

○調査方法

- 宮城県内1000席以上のホール利用状況
県民会館を含む12施設の管理者に対してホールの利用状況等のアンケートを実施し利用状況を把握。
- 県民会館の利用状況
過去3年間の実施イベント、入場者数等について実施主体や公演ジャンル毎に分析。
- 宮城県内の興行公演ジャンル分析
(1) 統計資料に基づく全国的な興行公演と県内の興行公演を比較・分析。
(2) 本県と類似又は同規模程度の静岡県、広島県における興行公演の傾向を比較・分析。
- ホール施設利用者等へのヒアリング・アンケート状況
(1) 県内外の文化団体（※1）、教育機関・団体（※2）に対してホール施設の利用状況や県が設置するホール施設への要望等についてアンケートを実施。
※1 アマチュア交響楽団、美術・舞踊・民謡等の団体、県内外の劇団など155件に送付。52件が回答。
※2 仙台市内の小中学校、県内の高校・大学等、県内外の高校文化連盟など420件に送付。128件が回答。
(2) 県民300人に対して文化芸術に関する意識調査を実施。
(3) 県内でコンサート等の興行公演を行う大手プロモーター6社及び全国規模で音楽、舞踊、ミュージカル等の公演を行う実演団体等5社に対して県民会館の需要や県内ホール施設環境等についてヒアリングを実施。
- その他の調査
・県内の文化ホール、アリーナ、ライブハウス等の規模や機能、立地等の基本的事項を調査。
・全国32の中核的なホール施設に対して近隣施設との役割の棲み分けや、具体的な取組等を調査・分析。
・拠点文化施設としてのあり方について、近年整備されたホール施設の参考事例10施設を調査。

1. 宮城県内1000席以上のホール利用状況

- ・県民会館の稼働率は、全国平均を超えて8割から9割近い高稼働状態である。
- ・県内1000席以上のホールのうち、1000～1400席の稼働率は60%前後だが、1500席規模以上のホール施設は、一般に利用予約が取りにくいと感じられる70%を超える稼働率となっている。

【表1-1】宮城県民会館利用状況

年度	利用可能日数	利用日数実績	稼働率	入場者数
27	333日	294日	88.3%	296,797人
28	236日	199日	84.3%	216,255人
29	281日	220日	78.3%	270,315人

改修工事のため29年1月から4月まで休館。このため、稼働率の高い4月の利用がなかった29年度は稼働率が低下した。

【参考】平成27年度の全国平均稼働率

県立	64.8%	政令指定都市	69.5%	1000席以上のホール	58.3%
----	-------	--------	-------	-------------	-------

【表1-2】県内1000席以上のホール利用状況合算値

年度	ホール規模	利用可能日数総計	利用日数実績総計	全体稼働率
27	1500席規模以上※1	1,019日	753日	73.9%
	その他仙台市内※2 (1000～1400席)	865日	510日	59.0%
	その他県内施設※3	1,529日	709日	46.4%
28	1500席規模以上	922日	674日	73.1%
	その他仙台市内	855日	533日	62.3%
	その他県内施設	1,500日	703日	46.9%
29	1500席規模以上	963日	664日	69.0%
	その他仙台市内	925日	547日	59.1%
	その他県内施設	1,494日	704日	47.1%

※1 1500席規模以上(仙台サンプラザ、県民会館、泉文化創造センター)
 ※2 その他仙台市内(萩ホール、電力ホール、国際センター)
 なお、仙台市民会館は稼働率が著しく低い(33.6～42.6%)、除外した。
 ※3 ほか県内施設(気仙沼、名取、栗原、岩沼、多賀城の5ホール)

2. 県民会館の利用状況

- ・県民会館は、興行公演主体であり、公演ジャンルの中心はポップス及びミュージカル等である。
- ・集客1300人以上の公演が6割を超えており、それだけの人数を収容できるホールは、県内に他には2施設しかないが、仙台市泉文化創造センターは音楽向ホールであり、仙台サンプラザホールはポピュラー音楽向施設である。県民会館の代替となる施設は仙台市内にはなく、特に演劇・ミュージカルの大型興行に適した施設は他にない。

【表2-1】県民会館で行われた公演の主体別入場者数

年度	項目	行政	公社	学校	文化団体	興行	企業団体	その他	総計
27	総入場者数	18,494人	11,800人	24,700人	14,800人	208,803人	13,600人	4,600人	296,797人
	割合	6.2%	4.0%	8.3%	5.0%	70.4%	4.6%	1.5%	100.0%
28	総入場者数	21,851人	3,600人	34,160人	25,100人	120,030人	7,700人	3,814人	216,255人
	割合	10.1%	1.7%	15.8%	11.6%	55.5%	3.6%	1.8%	100.0%
29	総入場者数	20,377人	11,200人	31,420人	24,081人	171,267人	9,000人	2,970人	270,315人
	割合	7.5%	4.1%	11.6%	8.9%	63.4%	3.3%	1.1%	100.0%

【表2-2】県民会館で行われた公演のジャンル別の入場者数区分

年度	入場者数	音楽		ステージ			式典利用	学校利用	その他	総計	
		クラシック	ポピュラー	演劇	舞踊	伝統芸能				回数	割合
27	1,300人以上	12回	44回	41回	4回	4回	1回	8回	7回	121回	59.6%
	1,000～1,299人	4回	9回	24回	1回		6回	3回	4回	51回	25.1%
	701～999人	2回		9回				4回	1回	16回	7.9%
	700人以下	3回	2回	2回			2回	1回	5回	15回	7.4%
	総計	21回	55回	76回	5回	4回	9回	16回	17回	203回	100.0%
		10.3%	27.1%	37.4%	2.5%	2.0%	4.4%	7.9%	8.4%	100.0%	
28	1,300人以上	20回	39回	9回	2回	6回	1回	13回	5回	95回	63.8%
	1,000～1,299人	3回	9回	4回	5回		9回	3回	3回	36回	24.2%
	701～999人	1回	1回						1回	3回	2.0%
	700人以下	2回	5回				4回		4回	15回	10.1%
	総計	26回	54回	13回	7回	6回	14回	16回	13回	149回	100.0%
		17.4%	36.2%	8.7%	4.7%	4.0%	9.4%	10.7%	8.7%	100.0%	
29	1,300人以上	11回	59回	18回	2回	7回	1回	10回	6回	114回	69.9%
	1,000～1,299人	8回	6回	6回	3回	2回	8回	5回	6回	44回	27.0%
	701～999人	1回					1回		1回	3回	1.8%
	700人以下				1回				1回	2回	1.2%
	総計	20回	65回	24回	6回	9回	10回	15回	14回	163回	100.0%
		12.3%	39.9%	14.7%	3.7%	5.5%	6.1%	9.2%	8.6%	100.0%	

3. 宮城県内の興行公演ジャンル分析

- ・全国における音楽：ステージの公演比率47：53に対し、宮城県では80：20とステージ比率が極端に低い。
- ・宮城県においてステージ系興行公演の需要が特異に少ないとは考えにくく、ステージ系興行公演に適した施設が不足しており、ステージジャンルの公演に適したホールの供給が過少になっていると見られる。

【表3】興行公演の実施回数

年度	ジャンル	会場収容人数	全国		宮城県		広島県			静岡県			
			回数	割合	回数	県内比	国内比	回数	県内比	国内比	回数	県内比	国内比
26～28 合算	音楽	1,000人未満	127,175	34.1%	3,563	62.6%	2.8%	2,524	58.8%	2.0%	1,314	37.7%	1.0%
		1,000人以上	46,928	12.6%	971	17.1%	2.1%	906	21.1%	1.9%	851	24.4%	1.8%
	小計	174,103	46.7%	4,534	79.7%	2.6%	3,430	79.9%	2.0%	2,165	62.1%	1.2%	
	ステージ	1,000人未満	164,126	44.0%	689	12.1%	0.4%	460	10.7%	0.3%	923	26.5%	0.6%
1,000人以上		34,952	9.4%	409	7.2%	1.2%	401	9.3%	1.1%	401	11.5%	1.1%	
	小計	199,078	53.3%	1,098	19.3%	0.6%	861	20.1%	0.4%	1,324	37.9%	0.7%	
	合計	373,181	100.0%	5,689	100.0%	1.5%	4,291	100.0%	1.1%	3,489	100.0%	0.9%	

※宮城県は、ステージの内、歌舞伎、狂言等について席数分類ができないため、合計にのみ含まれている。

4. ホール施設利用者等へのヒアリング・アンケート状況

- ・大手プロモーター、実演団体へのヒアリングの結果、11団体中9団体がホール不足を訴えている。
- ・大手プロモーターからは、2000～2500席規模や、1500～2000席規模の多目的ホールを求める声が多くあり、2000席規模の多目的ホールはその需要の受け皿になると見られる。
- ・県内外の教育機関・団体へのアンケートでは、1800席以上を希望する意見が最も多く、3割を占めた。
- ・演劇、ミュージカルに適した中小規模の劇場の不在が指摘されている。

【大手利用団体へのヒアリングで寄せられた声】

- ◆利用予約が取りにくい。◆仙台であれば2000～3000席が二つあっても良い。◆大は小を兼ねる。大きいほうが良い。
- ◆2000席であれば1500席に可変できる。客席数の可変が良い。◆2000席は興行用、ほかに演劇専用の中小劇場を。
- ◆1500席程度が二つほしい。◆県内に会場がないという理由で年間10～20本の公演が流れている。◆現地建替はあってはならない。4～5年の休止はあり得ない。◆市と県の施設の棲み分け。市と県で連携してほしい。◆立地は街中が良い。
- ◆2000席規模で間仕切りを使うのであれば学校の芸術鑑賞会から一般の興行まで広く使い分けができる。

【県内外の文化団体、教育機関・団体へのアンケートで寄せられた声】

- ◆利用予約が取りにくい。◆合奏利用時に十分な舞台の広さの確保を。◆バックヤード(搬入口やリハーサル室)の整備を。
- ◆200～300席の小ホール併設も考えて。◆客席数を確保し、東北大会、全国大会が開催できる施設に。◆楽屋数を多く、リハーサル室が複数あること。◆公共交通機関が利用可能なアクセス。◆仙台市中心部に建設してほしい。◆関係者駐車場、搬入のためのスペースが十分にあるとよい。◆会議室、カフェ、レストランなど付帯設備の充実を。